

第6回香美市立図書館及び美術館収蔵庫建設等検討委員会

平成29年3月29日(水) 18:30～

香美市役所3階 会議室

出席委員：中村直人委員長・濱田正彦副委員長・山本恭弘副委員長

岡花瞳委員・野村貴子委員・野村文紀委員・奥野克仁委員

町田由岐子委員・大岸真弓委員・式地美智委員

山本祥子委員・依光美代子委員・仙波美由記委員・岡林良浩委員

森本ちづ委員・山重壮一委員(16名)

事務局：教育長・久保課長・和田班長・都築館長・松岡・佐竹館長・黒岩・依光

野島次期次長・岡本次期課長

CM：日建設計 森

教育長挨拶

委員長

今日の流れを確認。

土地の選定の仕方について色々と疑義がでたが、市民に支えていただけるイメージを持った図書館を作りたい。手続き上のボタンのかけ違いがあっても、後ろ向きにならず最終目標を的確に捉えて努力することを確認し、図書館の建設に当たりたい。

事務局からパブリックコメントに寄せられた意見についての説明

委員長

簡単に目を通していただいて、何かご質問とか、ご意見等ありませんか。

事務局

パブコメの期間と議会の日程が重なった。パブコメには、場所については載せていなかったが、新聞報道のおかげで意見がでた。回答については、建設等検討委員会でも検討し、ホームページにあげるように考えている。

委員

市民懇談会の2回目開催に出た意見はこの中に含まれているのか。

2回目の市民懇談会に用地に関する意見が出たのか。

事務局

会場で出た意見は含まれていない。パブリックコメント期間中に回収場所に寄せられた

意見である。

懇談会を開いた次の直近の検討会で、出た質問については提示させてもらった。ただし、その時点では土地の公表をしていなかったのので、場所について出た意見については提示していない。改めて、皆様に提示させていただきたい。

委員長

基本的には書かれている内容は、コンセプトに出ていると思うが、賛成、反対の理由が大事だと思う。意見を反映させた形で検討していきたい。

事務局

建設等検討委員会の中で場所について検討していただくにあたり、建設位置検討部会を置く。

- ・ 要綱改正の報告

香美市立図書館及び美術館収蔵庫建設等検討委員会設置要綱

3の建設位置検討部会について、教育委員会で諮った。

委員長

もう一度要綱を見てもらいたい。市庁内の中の意見のみで最終決定していると思われるので、透明性と公的な意見を聞いて選定するというので、もともと要綱2条の1項に「この委員会が図書館の建設位置に関する事項を検討する」という項目があるので、検討委員の中で部会を作ってそこで専門家に検討してもらいたい。検討委員全員ということは難しいので、その中からメンバーを選び、検討してもらおう。オープンにする予定の期日を余りずらして1年も2年も遅れるということは市民にとって大きな損害になるので、できる限り延長は少ない日数で、市民の方に納得してもらえるプロセスを踏んで、ということで、今日、部会を設けることに承認をいただいて、この中から委員を選びたい。

委員

部会を置くのは、いいと思う。最後は教育委員会で決定することもいいと思う。情報の出し方を検討しないといけない。用地の検討については、教育長がおっしゃったように、今までのことは考えないで、どういう場所に図書館が建てば良いか。委員の選定は難しいが方向性は委員長が言ったとおりだと思う。

委員

プロセスには賛成だが、平成32年という合併特例債の期限等がある。スケジュールについて説明をお願いします。

CM

8月末に用地が決定できると考えている。土地によっては、スケジュールが変わる。場所の特性によって、申請が変わってくる。今、目指しているのは平成31年度開館である。合併特例債は最終期限が平成32年度で、現在の予定より1年の余裕があり、十分な時間がある。土地の購入額以外についての建設にかかわるスケジュール等は、それぞれに応じて検討し、CMが助言をしていく。

委員長

建設について、市民のために速やかに建設したい。市民に疑念をもたれない形で決定していきたい。将来の世代にきちんと説明できる状態で、決めていくのならばよいのではないか。

この検討委員会の中に部会を設けて、透明性の問題とか市民の意見を入れるとか、現在批判を受けていることをクリアできるような形にしたい。事務局の方からどういうメンバー設定をしていくか説明をいただきたい。

教育長

誰とは限定していない。委員長と副委員長2人の計、3人には入ってもらいたい。6～8人くらいの人数が、話がしやすいのではないかと考えている。

要綱を20人から22人に訂正している。第6条4に決めている項目が最初からあるので、途中で意見を聞く必要があれば委員長に召集してもらおうことで対応したい。香美市立図書館なので、用地の検討ということであれば、地域性等も考えて立候補をお願いしたい。

委員長

残り3～5人です。

委員

図書館ではあるが、美術館収蔵庫もあるので、位置とか広さについて美術館の方も入っていただいたらいいのではないか。

委員長

委員長と副委員長が入るので、そこはクリアできている。必要に応じて、専門家を呼んで意見を聞くこともできる。

副委員長

自分より、奥野さんに入ってもらった方がいいのではないか。

委員長

美術館部門としては、副委員長がすでに入っているの、後は必要な時に呼び出して意見を聞けばよいのではないかと。

委員の中から、自分がやってもいいという方はお願いします。

委員

学校にいます。香北に住んでいるが、山田の図書館というよりは香美市の本館という考え方で、みんなで検討したい。

委員

物部町です。香美市の図書館ということで、香北の方も物部の方も、みんながいいという用地を検討したい。

委員

山田代表ということで、図書館完成の折には、十分活用させていただきたい。

委員長

もともと、山田地区以外の方もうまく利用できるようにと議論してきたので、その観点をに入れて、議論いただきたい。

委員

工科大の都市計画の審議会委員長もやっているの、商工会の〇〇さんも街づくり観点から意見をだしてもらいたい。

委員長

7名で部会を形成して、今までの批判等をクリアにしていきたい。後の世代に説明できる形にしておけば、問題ないのではないかと。そこはきちっと明示して、どういうことでそれを選んだのか。皆さんの方で、傍聴を希望されるということであればできる限り対応する。土地のお金や所有者等、あまり公表できないもの以外は公開していく。

- ・ 検討内容の公開方法

事務局

開催日時のお知らせ等公表できていなかった部分がある。議事録の公開や開催日時の公開、傍聴について、HP 上でお知らせするという形をとっていきたい。議題や検討内容につ

いて基本的に掲載していく前回の検討委員会の議事録というか、記録を掲載するという
ことについて、こういったレベルのものを掲載していけばよいか、意見をいただきたい。

教育長

議事録が、これでよいのかどうか検討委員さんに内容の確認をお願いしたい。また、委員の名前は匿名としたい。前回の議事録の内容の確認をしてもらいたい。

委員長

市民のためにやっていることなので、傍聴の希望があれば、秘匿性の高い特別な事項が無い限りは、オープンにする形を取りたい。傍聴の手続きに関する要綱を作っているので、事務局から説明をお願いします。

事務局

傍聴要綱（案）についての説明。

この検討会のみを採用する傍聴要綱ではなく、広く教育委員会全体で使用する要綱として決めるという予定なので、検討委員会に特化したものではない。

委員長

傍聴要綱を元にこの検討委員会用に作成するということか。

委員

1（2）に定員になり次第、受付を終了とあるが、定員は定めているのか。

事務局

会場の広さ等により、場合により定員を設ける形である。

委員長

スマホから等の受付項目を設けたら良いのではないか。もし、住所や氏名に虚偽の申込をされた場合、どうするのか。

委員

議会でも傍聴してもらっているが、その内容が合っているかどうかの確認まではしていない。

委員長

傍聴人については、事務局も情報が必要だし、今後図書館運営のサポートをしてもらう

ということに活用したら良いのではないか。傍聴に関しては、原則的な手続きを定め、特別な事項がない限りオープンにするということが良いか。

次に議事録について、意見を求めたい。

事務局

委員が目通ししてから HP に掲載していく。発言内容を元にしたものか、項目だけを掲載するのか。

副委員長

言葉をテープ起ししてから、委員全員に確認をとってから掲載ということであれば、掲載に時間がかかりすぎる。項目だけでよいのではないか。

委員長

一字一句拾い上げると時間がかかりすぎるので、副委員長の意見に賛成する。

短い簡易版を公表すべきである。お知らせできる状態にすることが大事である。詳しい議事録は後日の検証用として保管しておけばよい。

委員

録音したものについても、情報公開の対象になるのではないか。詳しいことを知りたいのであれば、音声データが非公開でなければ、聞いていただいても良いのではないか。

委員長

市の方の情報公開で対応してもらったらいい。

話し合った内容をできる限りスピーディーに市民に出していくのが重要である。図書館について市民のサポートがもらえるような状態にしておけばよいのではないか。

委員

香美市 HP のトップページに、もっと PR したほうが良い。

委員長

普通、HP には新しいトピックがあつて、順番に載せたものをクリックすると見られるようになっていく。いちいち何課のどこか探す必要がないものだ。

事務局

香美市 HP の新着情報のところをクリックするとできる限りページにたどり着くように、担当の総務課と相談する。

委員

早さも大事、簡潔にまとめるのも大事だが、みんなが話したことをまとめるということが大変なのではないか。

委員長

議論した内容、決まった事項をまず、掲載したらよい。特に市民が関心をもっている内容については、どう議論されて、どう決まって、自分がどう関わるか分かるように載せ、図書館をサポートしようと思っている人が自分も関われる、と思える書き方にしてもらいたい。事務局からの一言があっても良いと思う。前の委員が視察に行った伊万里をモデルにしたら、当時は、インターネットが発達してなくてできなかったことが、今は沢山のことができる。ツイッター等も使って、香美市の図書館に対して市民がものすごく関心を持っている、ということになると良いと思う。

委員

家でインターネットをしない人のために広報紙に状況報告を載せるとかはどうか。

委員長

スマホでアクセスできるようにすれば良い。市民に知らせる方法、市民に関心を持ってもらえるか、どんなサポートをしてもらえるか、工夫の余地は沢山ある。他に意見はないか。あれもこれもやれと言われたら事務局担当者が大変なので、現実的に対応できることをやってもらえれば良いと思う。

教育長

土地に関する検討については、他の委員さんも意見があるのではないか。

委員長

今まで検討してきた候補地以外にも適正地があれば、検討する余地があるということで、これまでの経緯や決まったものをそのまま認めるということではなく、一から考えていただくということで良いか。

教育長

用地検討委員会で検討してきた内容について、本日説明する予定だったが、都合により別の機会に説明するようにしたい。

委員長

どのように検討されたかについて、後日説明をお願いします。
傍聴と情報公開については、出された意見を参考にして進めてください。

教育長

香美市の拠点となる図書館を作るという夢を語りながら進めていっていたはずが、手順が悪くて混乱を招いた。議会で指摘されたように、透明性の確保と市民の参画、市民のために作る図書館なので市民の意見を聞くという原点に立ち返って、情報公開しながら図書館建設を進めていきたいと思う。

委員長

ボタンを掛け違えた点は真摯に反省し、いい機会を与えられたと考え、新聞等で疑義がでた場合は市民の方に広く知らせて、受け入れられるよう進めましょう。

委員

図書館の話をする時に、個人の意見と検討会の意見との混濁がみられ、市民が困惑しているのでは、と思うことがあった。委員の皆さんも疑念があるのであれば、市民に対して言うのではなく、検討会の中で述べると今より良い方向に向かうのではないかと思った。

委員長

ありがとうございます。これで閉会にします。

(20 : 15) 閉会